

## 福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

### ① 第三者評価機関名

NPO法人未来

### ② 施設・事業所情報

名称：企業主導型保育所 南クローバー保育園	種別：保育所
代表取締役：山城 伸一 園長：池尾 幸美	定員（利用人数）：100（72）名
所在地：鳥取県米子市八幡714番1	
TEL：0859-57-2448	ホームページ： <a href="http://clover-hoikuen.jp">http://clover-hoikuen.jp</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年6月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クローバーホールディングス	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員 9名
専門職員	保育士 8名 看護師 1名 保育士 6名 調理員 1名
	連携推進員 1名 栄養士 1名 子育て支援員 1名
	子育て支援員 2名 調理員 2名 事務員 1名
施設・設備 の概要	（居室数）6室 （設備等）トイレ、調理室、 保健室
	乳児室、保育室、調理・調乳室

### ③ 理念・基本方針

#### 保育理念

好きなことをもっと好きになれるよう 自分らしさを大切にのびのびと生活する

#### 保育方針

- 四季を感じながら、色々な体験をしていきます
- 好きなことがもっと好きに、楽しくなるように個性を大切にしていきます
- いろいろな人と関わる中で、心の育ちを大切にします

### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・子どもの好奇心や発想を大切にし、そこから生まれるものから遊びを工夫する。
- ・四季を感じられるよういろいろな体験をする。（自然とのかかわりの中で好奇心、探求心をはぐくむ。動植物との出会いを通して命の大切さを感じる）
- ・楽しい食育（季節の野菜栽培、田植え・稲刈り体験等）
- ・英語

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月27日（契約日）～ 令和3年3月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ ）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ①職員は、子どもの興味・関心を大切にし、理念である「好きなことをもっと好きになれるよう、自分らしさを大切にのびのびと生活する」を意識した保育に取り組んでいる。
- ②子どもがやりたいことを自分で選ぶことができるよう、遊具や折り紙、道具箱などが、子どもの目線に合わせて配置され、子どもが進んで整理整頓している。
- ③屋内と園庭はスムーズに出入りでき、園庭には大きな軒下があるので、雨天時でも雨にぬれずに戸外に出て遊ぶことができる。
- ④お散歩マップを作成し、近隣の公園や小学校の校庭などに出かけるなど園外保育に力を入れ、のびのびと活動しており、地域との関わりの機会にもなっている。
- ⑤園庭には、子どもが主体となり育てている、稲・イチゴ・ニンジンなどたくさんの野菜等があり、食育の一助となっている。
- ⑥クローバーグループの栄養士が、旬の食材や地元の食材を使って個々の成長にあった献立を、卵と小麦粉を抜いた「除去食」で作成し、食事は自園調理で提供している。
- ⑦園に入るとすぐ調理室があり、廊下に面した大きな窓から、料理や配膳の様子を見ることができ、食を身近に感じることができる。
- ⑧コロナ禍の関係で行事規模の縮小や保護者等の参観を取りやめたりしているが、行事の様子を伝えるため、玄関での写真掲示やDVDを各家庭に配布するなど、情報発信に努めている。
- ⑨労務管理について、外部コンサルティングの評価を受け、課題解消に向け取り組んでいる。
- ⑩計画的に第三者評価を受審し、保育の質の向上について全職員で取り組んでいる。

◇期待できる点

- ①職員一人ひとりの能力を発揮するための労働環境、相談しやすい環境、バランスのとれた配置ができるよう人事制度含め改善を図れるよう取り組んでいる。
- ②今年度、社外監査役(会計士)の選任、外部の監査法人との契約の締結、事業・内部統制・財務等の整備をし、事業の透明化を図っている。
- ③グループウェア(サイボウズ)の導入により、全園と本部を繋ぐクラウド上での情報共有環境を整備し業務の効率化を進めている。

◇改善を求められる点

- ①事業計画等の職員への周知及び理解の促進に努め、さらに保護者への発信に進めていくよう期待する。
- ②会社組織全体の規模が拡大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入している。人事考課や目標管理等への活用がスムーズに実用化することを期待する。

- ③ 地域の一員としての保育所となるよう、まずは地域との定期的な情報交換等を始めてみてはどうか。
- ④ 各種マニュアルの見直しと共に、容易に閲覧できるよう整備し、利便性がよくなるよう管理方法の見直しを期待する。
- ⑤ 職員間での情報伝達がよりスムーズで確実なものとなるような工夫を望む。
- ⑥ 職員数に対し、職員のためのスペースが少ないように感じた。職員の働きやすさについても検討してみてはどうか。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育理念に沿って取り組んできたことに評価頂き、大変嬉しく思います。しかし、今回の評価を受けて保育に関して不足している項目や各種マニュアルの整備、職員間の情報共有等、多くの気づきや見直しが必要なことがあり、保育事業部と連携を取りながら改善していきたいと思えます。また、新型コロナウイルスの関係で、今年度は様々な行事等が中止や規模縮小となりました。この一年を振り返り、次年度に向けた取組を考えていきたいと思えます。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

## 第三者評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページや園のしおりに理念・基本方針を示し、また、園の玄関の目に触れるところに掲示し、周知を図っている。保護者に対して、園の行事や保護者アンケートなどその都度園の方針をわかりやすく説明している。職員に対しては、職員研修、ミーティング等で理念・方針の共有およびそれに基づく実践状況を確認し、継続的な取り組みをしている。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a (b)・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>国、県、市、福祉医療機構、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料により、具体的に動向の把握に努めているが、十分とは言えない。役員による定期的な職員面談等により現場の環境把握に努めており、月1回以上の経営会議や取締役会で課題を把握し、分析する機会を作っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>財務会計と内部統制については、今年度、外部の監査法人との監査契約を締結し、組織体制の強化に努めている。外部の会計事務所の協力を得て、内部統制関係の整備をした。職員への周知には至っていない。外部コンサルティングの評価を受け、労務管理上の課題解消に向け取り組んでいる。グループウェア（サイボウズ）導入により、全園と本社を繋ぐ情報共有環境を整備した。また、クラウド型電子契約システムを導入し、業務の効率化に努めている。職員への周知が課題である。</p>		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>経営計画についての中期経営計画及び収支計画を策定し、取締役会等により評価するよう努めている。理念や基本方針の実現に向けての中・長期計画は十分とは言えない。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>単年度事業計画は、新規開設や人材確保、人員配置、園児受け入れ計画を策定し、毎月取締役会、経営会議にて情報共有している。数値目標や事業の成果を設定するなど、具体的に検討してはどうか。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b (c)
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体の保育計画、月案、週案、個別経過記録などでその都度保育理念や保育目標に基づく評価、反省を行なっているが、事業計画は職員等の参画や、意見の反映が十分に行われていない。計画を具体的に職員が周知・理解できるよう取組の工夫を期待する。また、事業計画の実施状況が手順に基づいて具体的に評価・見直しできるよう努めてほしい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b (c)
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページ上には事業計画は示されていない。保護者には年間行事に関する文書を配布している。保護者の参加を促す観点から事業計画についてのさらなる周知・説明の工夫を期待する。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>内部評価については、法人による職員個人面談・各園ミーティング・園長会・月齢別研修等の定期開催により意見交換や情報共有を図り、質の向上に努めている。会社組織全体の規模が増大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入し人事考課や目標管理等に活用していく計画がある。定期的に第三者評価の受審を計画している。全職員で評価にもとづく振り返りや情報共有に努めてほしい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ミーティング、園内研修等において定期的に課題解決に向けて見直しを行う体制を構築している。より良い状況にしていくため、建設的な意見が出る場ができるよう今後も継続してほしい。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長の役割や責任をミーティングで伝えたり、日々話したりしているが、十分には周知が図れていない。園長の役割や責任を文書化するなど、さらなる周知徹底を期待する。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法令遵守に関するマニュアルがあり、職員は法令遵守に努めている。今年度はマニュアル研修や見直しができおらず、正しく理解するための取り組みが十分ではない。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、保育計画の立案や評価・反省が子どもの興味を引き出し、発達を促せるものになっているかアドバイスをしたり、ミーティング等で職員と一緒に検討するよう努めている。</p>		

13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、保育園の理念や方針に基づき、職員と意識を同じにするよう努めている。経営(人事や労務)の改善へ向けて取り組みには携わっていないが、経営的視点での業務改善も意識してはどうか。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人本部として外部研修へ計画的に参加を促し、その学びを検証する体制をとっている。補助金等を活用しながら、保育士資格等の取得支援など職員のスキルアップにも取り組んでいる。法人で女子サッカークラブを運営しており、当該部及び保育系学科のある大学等にも直接アプローチをし、子育て支援員も含め、人材確保に努めている。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員面談等により意向・意見の吸い上げ等実施しているが、明文化された基準や体系的な評価制度の確立については不十分である。法人全体で職員数が増大しており、今期よりクラウド人材管理システムを導入し、人事考課や目標管理等に着手しているところである。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>有給休暇の取得状況は法人本部が管理している。出勤簿や休暇届の点検などの勤怠管理、職員の健康管理に配慮したシフト作成等は園長と法人本部が連携し、就業状況や意向の把握に努めている。日ごろから職員が相談しやすいよう工夫し、心身の健康や意向の把握に努め、さらに働きやすい職場づくりに取り組んでほしい。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>定期的に個人面談を実施し、職員の理解度の確認など、保育の質の向上に取り組んでいる。法人の期待する職員像を目指し、職員一人ひとりにふさわしい目標を設定し、達成度の確認ができるような体制が整うことを期待する。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a (b)・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自治体等外部が主催する研修に積極的に参加している。法人内においては、職種別、担当クラス別等に分類し、会議による意見交換や研修を実施している。職員教育・研修に関し、具体的な目標や体系的な計画等、さらに明確な保育所の基本姿勢が期待される。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の経験年数、クラスの子どもの姿等を考慮し、本人の希望を確認した上で研修を実施している。研修後は報告書を提出し、園内の伝達研修で共有している。今後は体系的な計画を策定するための評価基準を明文化していくよう検討中である。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習のしおりを作成し、受入フロー、実習目標の共有及び振り返りについての流れをマニュアルとして文書化しているが、不十分である。単位取得のみを目的とせず、実際の保育を体感する等保育園グループの理念を共有できるよう努めている。今後、より体系的に学べるようなプログラムを工夫してほしい。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園見学や公開保育等を積極的に実施している。SNS等も活用し、園の取り組みに幅広く触れる機会の創出に努めている。行事の様子を伝えるため、玄関での写真掲示など生の情報提供（運動会風景の動画）にも努めている。今年、ホームページをリニューアルした。今後情報公開を行っていく計画があり、事業計画・苦情相談、第三者評価結果など、公表内容を広げてほしい。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事務、経理、取引等において、法人本部と各園で棲み分けをしている。小口現金管理は各園で行い、消耗品、備品等小口現金予算の範囲を超えるものはグループウェア（サイボウズ）上で稟議をかけるなど、承認経路をスリム化し処理の迅速化を図っている。社外監査役（会計士）を選任。外部監査法人と契約を締結し、事業、内部統制、財務等を整備した。また、内部監査室を設置した。運営状況についての職員の周知を望む。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>4・5歳児の行事である田植えや稲刈りは、近隣の田んぼで地域の方の協力を得て実施している。また日々の散歩など園外保育の際、出会った方に挨拶をしたり、トイレを借りたり、子どもが地域と関係をもつ機会を設けている。今年度は園を開放し地域の方に来園してもらう計画を立てていたが、コロナ禍の影響により実施できていない。近くにある公民館などの地域資源を活用し、地域と保育所の交流がさらに広がるよう期待したい。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティア等の受入れに対する登録書類やマニュアルは整備されているが、受入れについての体制が十分に整備されていない。受入れに関する職員研修やボランティアへの研修の実施、保護者への説明方法の検討など、より細かな体制が整うことを期待する。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>県の関係部署、病院、学校など関係機関をリスト化し、目に留まる所に掲示してあるが、地域の事業所、ボランティア団体、子育てサロン等については十分にできていない。事案ごとの必要に応じ、連携が必要な機関や団体に相談するなど連携をとってはいるが、さらに、定期的な連絡会などのネットワーク化を積極的にすすめてほしい。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・b (c)
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所が有する専門的な知識・技術や情報を、地域に開放・提供する取組を行い、保育所も地域の一員として、例えば勉強会の開催や相談窓口の設置など、園としてできる範囲での地域との交流を期待する。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b (c)
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組として、近隣にある公民館・小学校・保育園と連携することで、地域の福祉ニーズの把握や、公益的な事業・活動を行いやすくなるのではないだろうか。まずは各所との関係構築が期待される。</p>		



## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、理念である「好きなことをもっと好きになれるよう、自分らしさを大切にのびのびと生活する」を意識した保育の実践に心がけている。子どもを尊重した保育について、会議の際にも職員から子どもへの具体的な声掛けの方法や子どもとの向き合い方、子ども同士のトラブル時の双方への関わり方など、より理解が深まるよう周知徹底している。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>運営規定に秘密の保持に関する条項が定められており、職員は採用時に秘密保持の契約を交わしている。虐待についてはマニュアルとチェックリストが作成されており運用しやすい。日々の保育では、排泄や更衣の際などに人目を避けたり、乳児に対しても行動ごとに声掛けをして関わるなど、子どものプライバシーに配慮している。さらに、プライバシー保護や権利擁護に関する定期的な研修等を期待する。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人のホームページの中で南クローバー保育園の情報や、見学・入園の手続等について掲載している。見学希望があれば随時受け付け、理念の説明等丁寧に対応している。園の紹介資料は公共施設等各所への配置は行っていない。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の開始時には入園前面談で園のしおり、重要事項説明書を用いて説明している。今年度は「保育料の無償化」について、決定前の計画段階から知りえた情報を随時保護者に伝え、決定の際は、書面を用い口頭でもわかりやすく説明をした。保護者がより理解しやすいよう、写真・図・絵を用いるなど伝え方のさらなる工夫や配慮が期待される。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所等の変更にあたり、必要時には継続性に配慮した情報提供を行っているが、引継ぎや申し送りの手順、文書の内容は定めていない。園の利用終了時には、引き続き相談等を受け付ける旨を</p>		

保護者に口頭で伝えている。保育の継続性に配慮した具体的な対応や記録の整備を期待する。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は子どもの行動を見るだけでなく、その時の子どもの気持ちを確認しながら対応することで、子どもが納得できる保育を実践している。満足度を把握するため保護者アンケートを例年は年2回実施していたが、今年度はまだ行っていない。調査結果を検討する会議等の取組を期待する。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談・苦情の体制について、重要事項説明書に記載するとともに玄関スペースに掲示しており、意見箱も配置されている。苦情解決に関し報告書が作成されているが、受付から解決・その後の状況観察等、時系列の把握やそれぞれの対応者などの記録等、様式の改良が望まれる。また、可能な限り公表について検討してはどうか。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、送迎時など保護者が話しかけやすいような雰囲気づくりをし、日々の連絡ノートでは保護者からの意見を引き出しやすいよう心掛けている。個別面談や、行事後のアンケートでは保護者からの意見も記入できる様式にしており、意見や相談をしやすい工夫をしている。コロナ禍による行事縮小の影響もあり、意見を述べやすい環境の整備についてさらなる取組が期待される。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者からの相談や意見は記録に残し、迅速に対応しているが、経過の記録や職員間での共通理解、改善策の継続した取り組みが不十分である。送迎時や連絡ノートにより共有漏れがないよう、効率的な申し送りや、対応マニュアル等の定期的な見直しを期待する。保護者や子どもからの意見については、園だより等で適宜公表している。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育中に起こりやすい事故への注意書きや対応策を各保育室に掲示している。子どもに関するヒヤリハットや、ひっかき・かみつき等の軽微なけがが発生した際は、内容を記録し、原因究明と改善策を検討し、情報共有している。さらに安心・安全な保育の提供のため、定期的な会議や研修の実施を期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a (b) c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症対策についての体制を整備している。コロナ禍の今年度は「新しい生活様式における取組」という文書を作成し、世間の状況変化に応じて改訂し、職員に周知徹底するとともに、玄関スペースに掲示し保護者等にも周知している。職員、園児は手洗い・うがい・消毒の徹底や、食事時のパーティションの利用など、感染症予防の取組を行っている。さらにマニュアルの見直しや研修会等の定期的な取組を期待する。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に 行っている。	a (b) c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>非常災害・防犯対策について重要事項説明書に明記し、火災・地震・悪天候などの災害ごとのマニュアルを作成している。毎月行う訓練では、様々な場面を想定した計画をたて、園内で安全に待機したり、公民館まで避難したりしている。地域的な災害・緊急時に地域と連携し子どもの安全確保ができるよう、自治会や近隣と合同での避難訓練にも取り組んでみてはどうか。</p>		
---	--	--

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育サービスに関する各種マニュアルが作成されているが、閲覧しやすい状態ではない。全体的な計画をもとに、年齢毎の年間計画、月案、週案が、保育指針に準じて作成されている。標準的な実施方法に基づいた保育が行なわれているかどうか、職員会議や研修、自己評価等で確認している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>コロナ禍である今年度は、特に感染対策に関する内容や手順を都度見直し、実施している。そのほかの保育の標準的な実施方法について、定期的に現状を検証しマニュアルを見直すなど仕組みの検討を望む。保育計画は期間ごとに評価・反省を行い、必要に応じ次の計画へ反映している。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アセスメントにより実際の保育に即した指導計画になるよう、まず担当職員で検討し、主任や園長と共に策定している。さらに、計画の策定にあたり様々な職種の関係職員や、保育所以外の関係者等が参加して協議するなど、アセスメントの体制を整えることを期待する。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画は、週・月毎に担当職員を中心に評価・検討し、次の指導計画に反映させている。さらに組織的な仕組みとして、担当職員以外からの報告や保護者の意向を得る手順、検討会議など、</p>		

評価・見直しに関するシステムの検討を期待する。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の実施状況の記録はクラス単位や個別に日々行われており、情報共有が必要な事項は申し送りノートやホワイトボード等を用いて伝達されている。全体の職員会議を毎月開催し、欠席者には議事録やクラス別の会議により情報共有している。日々の情報の共有がより確実にできるよう期待する。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもに関する記録の管理について運営規程に明記している。個人情報保護規程について、職員は会社と秘密保持契約書を交わし厳守している。さらに記録管理に関して、保管方法や情報開示の基本姿勢など、より具体的な体制の確立が期待される。</p>		

## 福祉サービス第三者評価結果（南クローバー保育園） （内容評価基準－保育所版－）

※すべての評価項目（20項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を記入する。

### A-1 保育内容

評価項目	第三者評価結果	判断理由
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。 a・ <b>(b)</b> ・c	保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。年間・月間・週間の指導計画は定期的に評価を行い、見直しているが、担当保育士の参画が十分ではない。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 a・ <b>(b)</b> ・c	室内の温・湿度、換気や陽射しに配慮している。小学校のそばに立地しているため、建物外部にはボールよけネットを張り、子どもが危険を回避でき、安全に過ごせる環境整備に努めている。手洗い場・トイレは子どもが利用しやすく、遊具の置き場所にも工夫が見られる。
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 <b>(a)</b> ・b・c	子どもが自分の気持ちや感情を安心して表現できるように、保育士は寄り添い、傾聴し、分かりやすい言葉で対応している。昼寝をしたくない子どもには無理をせず、年中児の保育室で過ごすなど、一人ひとりに応じた保育を行っている。
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 <b>(a)</b> ・b・c	子どもの発達に応じた基本的な生活習慣を身につけられるように、絵本で食事の様子を見せたり、手洗いの方法・スリッパのイラストを貼るなど、習得できる環境を整えている。保護者と連携を密にし、食事や排せつなど子どもに無理のないよう尊重した関わりをしている。
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 <b>(a)</b> ・b・c	年齢毎の遊具の選択・各部屋以外に図書コーナーもあり、子どもの発達に応じた遊びができる環境を整備している。予定の計画はあるが、子どもの目線で主体的に活動できるように、「何して遊びたい？」と子どもに問いかけ、尊重している。
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 <b>(a)</b> ・b・c	子どもの発達状況に応じて「応答的な関わり」を心がけ、表情や活動をみて常に言葉かけをし、安心して過ごせる環境を整えている。衛生的な調乳室と静かな環境で授乳をし、乳児の健康と安全を確保している。成育歴の違いに配慮し、情緒の安定が図れるようにしている。
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 <b>(a)</b> ・b・c	保育士はゆったりと個々に向き合い、自発的な活動ができるよう関わっている。また、園内外での遊びや散歩活動の中で、様々な年齢の子どもとの関わりや仲立ちをしたり、保育士間で協力し、事故防止に努めている。散歩、行事等で保育士以外の大人との関わりをもったり、家庭と連携した取り組みを行っている。
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 <b>(a)</b> ・b・c	集団の中で子どもの個性が活かされ、興味関心のある活動に取り組めるよう、保育士等が適切に関わっている。昆虫を育てたり、菜園作り、地域の協力による田植え、稲刈り、収穫後のおにぎりパーティーに参加する等工夫している。5歳児は、月に2回「英語で遊ぼう」の活動を通して外国人との文化の違いを学んだりしている。
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 a・ <b>(b)</b> ・c	障害のある子どもが安心して生活できるように、遊び・睡眠・食事時には、十分に注意している。他児との関わりにも配慮し、共に成長できるようにしている。保育の方法については、医師と保護者の情報を共有し保育に活かしている。
10	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもが在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 a・ <b>(b)</b> ・c	異年齢の子どもと一緒に過ごせる環境を整え、一人ひとりの好きを見つけ対応している。子どもの状況については、日々連絡ノートで引き継ぎし、適切に行っている。在園時間の長い子どもに対し、午後のおやつ以降は、適宜水分補給をしている。
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 a・ <b>(b)</b> ・c	引き継ぎシートを活用し、年1回の小学校との意見交換会に参加している。就学に対する保護者の心配事を聴いている。年長児担任、園長が参画し児童保育要録の作成をしている。

A-1-(3) 健康管理			
12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c	子どもの健康管理を適切に行い、既往症や予防接種の状況など、保護者から必要な情報が得られるようにしている。体調不良時は保護者に連絡し、事後確認をしている。乳幼児突然死症候群に関する知識を職員に周知し、寝かせる場合は睡眠時チェック表に記録している。「ほけんだより」を発行し、保護者の理解・協力を得られる取り組みをしている。
13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c	年2回内科健診、年1回歯科検診を行い結果を記録し、文書にて保護者へ報告している。必要時は口頭で伝える場合もある。
14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師から指示を受け適切な対応を行っている。	a・Ⓑ・c	「食物アレルギー対応マニュアル」がある。食事の米アレルギーのある子どもと他児のテーブルの位置や、ご飯粒が衣服や床に残らないように配慮しながら、楽しく食事ができるようにしている。医師、保護者と連携し適切な対応を行っている。
A-1-(4) 食事			
15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c	職員は食育研修に参加し、食育計画を保育に活かしている。生活や遊び、食事の中で「食」について学べるよう年齢毎に工夫がみられる。食材の写真やサンプルでメニューを紹介したり、各保育室の壁面に栄養バランスが学べるよう食品シール等を貼ったり、食事のマナーや食べ物の大切さなども伝えている。
16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べるのでできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した献立・調理の工夫をしている。栄養士は保育室へ出向き食事の様子を見たり、子ども達と話をする機会を設けている。毎月の献立会議で人気メニュー、好き嫌いの把握、美味しく食べられる調理方法について話し合っている。給食職員に対し健康調査を実施すると共に、調理施設点検を行い、衛生管理を適切に行っている。

## A-2 子育て支援

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・Ⓑ・c	保育方針や保育内容・意図等について、入所時・送迎時の対話・行事・クラス懇談会・参観日・保護者会等の機会を捉え、保護者に伝えている。今年度はコロナの影響で参観日・保護者会等がなかったが、連絡帳や送迎時に伝えたり、発表会や運動会の様子をDVDを使って保護者に伝えたり、家庭と連携がとれる手段を模索している。
A-2-(2) 保護者等の支援			
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・Ⓑ・c	意見箱を設置したり、様々な場面で子育ての相談にに応じている。毎年個別面談の機会を設けており、コロナ禍ではあるが今年2回実施した。コロナ禍であっても保護者が安心して子育てができる支援に向けて、園での更なる取り組みを期待する。
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・Ⓑ・c	着替えの際はあざや傷がないか確認したり、子どもとの会話で気になる場合は他職員や園長に報告・相談している。早期発見・早期対応及び虐待予防に努めている。「虐待防止マニュアル」はあるが、保育実践に役立つよう、ファイルの整理をして欲しい。

## A-3 保育の質の向上

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・Ⓑ・c	年1回の自己評価（人事考課）は行っている。園長・職員間の話し合いや職員全体の振り返りが十分でないため、互いの学び合い・意識の向上につながっていない。保育実践の振り返りを保育所全体の自己評価につなげ、組織的・継続的に、保育の質の向上に向けた取り組みを期待する。